

草蒔沢

一九八四年八月四日

コルよりすぐ下の草蒔沢に降りる。所々にナメが出てくるが、楽々下降できる。

やがて小滝がいくつか出てくるが、特に障害となるようなものはない。沢も終わりとなる頃、六びの滝が

出てきた。この沢で初めての滝らしい滝。クライミングダウンするとま

もなく二俣。ここで下降終了とし、

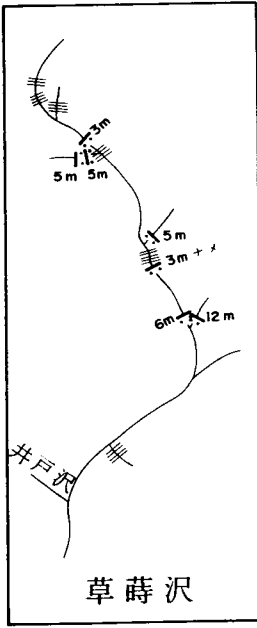
井戸沢

一九八四年八月四日

下の道路まで続く踏跡に上がる。

(記)

「タイム」 下降開始(一一:三〇) ↓
終了(一二:二五)



草蒔沢を井戸沢出合まで、クモの巣に悩まされながら歩く。水も少なく、河原歩きである。所々踏跡がみられた。

九時三五分、井戸沢出合。ここからは伐採・造林されている。

井戸沢に入ると、すぐに兩岸が狭まり、最初の滝三び。何なく越えて先に進む。

左側から滝となって支沢が合流したあとは、五び前後の滝の連続となる。

ここを過ぎると、伐採によってヤブがひどくなった中を苦労して進まねばならなくなる。その伐採地も、